

平成29年度第147回簿記検定試験要綱

甲府商工会議所

〔主催〕 日本商工会議所 甲府商工会議所

〔施行日時〕 平成29年11月19日（日）

（1・3級）受付開始 午前 8時15分 試験開始 午前9時00分～

（2級） 受付開始 午後12時45分 試験開始 午後1時30分～

* 試験開始前には、受付がありますので早めにご来場ください。

〔会場〕 山梨英和大学 甲府市横根町888

* 山梨英和大学の駐車場には限りがありますので、お車でのご来場はご遠慮ください。

〔受験資格〕 学歴・年齢・性別・国籍に制限はありません。

〔持ちもの〕 受験票・筆記用具（HBまたはBの黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴムのみ）・電卓等計算機
氏名や生年月日・顔写真のいずれも確認できる身分証明書（免許証やパスポート、学生証、社員証等第三者が発行したもの）

・試験当日、身分証明書の提示がない場合には原則として受験できません。

・受験会場には時計が設置されています。

試験中、携帯電話の電源は、お切り頂きますので、時計としての使用もできません。
必要に応じて各自で腕時計（メモリー機能の無いもの）をご持参ください。

〔受験料〕 1級 7,710円 2級 4,630円 3級 2,800円

〔その他〕 お身体に障害のある方・けが等の理由で、受験に当たって何らかの配慮が必要な方につきましては、状況の確認と当日の受験に関する対応をご相談させていただく為に、必ず甲府商工会議所にお申し出ください。

〔申込方法〕

1. 申込期間 平成29年9月25日（月）～10月6日（金）（甲府商工会議所）
平成29年9月25日（月）～10月9日（月）（以下の書店）

2. 申込窓口 甲府商工会議所（甲府市相生2-2-17 TEL:055-233-2243）

受付時間：9:30～17:00

（平日のみ受付）

柳正堂書店オギノバリオ店（甲府市朝気3-1-12 イストモールSC TEL:055-268-2213）

受付時間：10:00～21:00

朗月堂書店本店（甲府市貢川本町13-6 TEL:055-228-7356）

受付時間：10:00～21:30

ジュンク堂書店岡島甲府店（甲府市丸の内1-21-15 岡島百貨店6F TEL:055-231-0606）

受付時間：10:30～19:00

丸善キャンパスショップ山梨学院店

（甲府市酒折2-4-5 山梨学院大学内 TEL:055-236-0303）

受付時間：8:30～18:30

（平日と山梨学院大学休校日以外は受付）

※書店での受付に関する詳細は、各店舗に直接お問合せください。

3. 申込方法 ①当所指定申込書に所定事項を記入し(本人自筆)、受験料を添えて上記にお申込み下さい。
※1級受験申込者の顔写真貼付義務は廃止となりました。
 ②電話・インターネットによるお申込みはできません。
 ③申込後の変更・取り消しはできません。
 ④受験料は試験中止のとき以外、払い戻しできません。
 ⑤受験希望者多数の場合は、期間内でも締め切りとなります。

〔合格点〕 試験の採点は、各級とも満点100点とし、得点70点以上をもって合格とします。
 但し、1級に限り1科目毎の得点が、40%に満たない者は不合格とします。

〔答案審査〕 当所が委任する採点委員を中心として行います。
 審査は「簿記試験規則」「同審査規則」「受験者への注意」等に従い、厳正・公平を期して行います。
 答案審査について不正の事実を発見したときは、その合格を取り消します。

〔合格発表〕

- 発表日時 平成29年11月30日(木)以降、当所掲示板、ホームページにて発表予定
 ※1級は、平成30年1月9日(火)以降発表予定
 甲府商工会議所 HP アドレス <http://www.kofucci.or.jp>
- 合格証書 発表から約1ヵ月後に合格通知書を送付します。これと引換に交付します。
- 問合せ 試験の可否について、電話・Eメール等による問合せは一切受け付けません。
- 結果について 答案の公開・返却は一切いたしません。

＜＜ 試 験 規 則 ＞＞ (抜粋)

- 第1条 日本商工会議所は、各地商工会議所と共催して、この規則により簿記検定試験を行う。
 第2条 試験は年1回以上行う。その日時及び場所はその都度定める。
 第3条 検定は1級を最高とし、1・2・3の3階級に分ける。
 第4条 試験の科目及び程度を次の如く定める。

| 級別 | 科 目 | 程 度 ・ 能 力 |
|----|---|---|
| 3級 | 商業簿記 ・ 5題以内 制限時間 2時間 | ビジネスパーソンに必須の基礎知識。経理・財務担当以外でも、職種にかかわらず評価する企業が多い。 基本的な商業簿記を修得し、経理関連書類の適切な処理や青色申告書類の作成など、初歩的な実務がある程度できる。 中小企業や個人商店の経理事務に役立つ。 |
| 2級 | 商業簿記 工業簿記(原価計算を含む) ・ 5題以内 制限時間 2時間 | 経営管理に役立つ知識として、最も企業に求められる資格の一つ。企業の財務担当者に必須。 高度な商業簿記・工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できる。 高校(商業高校)において修得を期待するレベル。 |
| 1級 | 商業簿記 会 計 学 工業簿記 原価計算 ・ 各1題 制限時間 3時間(途中、休憩有り) | 公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門。合格すると税理士試験の受験資格が得られる。 極めて高度な商業簿記・会计学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる。 大学等で専門に学ぶものに期待するレベル。 |

- 第5条 合格者には合格証書を授与する。
 第6条 受験資格は制限しない。
 第7条 受験者は二つの級を受験することができる。
 ※ソロバン、計算機を使用してよい。但し、電卓は計算機能のみのものに限り、次の機能があるものは持込めません。①印刷(出力機能) ②メロディ機能 ③プログラム機能 ④辞書機能
 (注)但し、次のような機能は、プログラム機能に該当しないものとして、試験会場での使用を可とします。
 ・日数計算、時間計算、換算、税計算、検算(音の出ないものに限る)